



鹿島宇宙技術センター

# 施設一般公開

30 Aug 2014

8月30日（土）鹿島宇宙技術センターにおいて、施設一般公開を実施しました。

当日は朝からの雨により、713名（昨年：1,072名）と昨年を下回る来場者となりました。

過去2年間は11月開催としておりましたが、今年は翌31日（日）鹿島宇宙技術センター50周年記念講演会に合わせて夏休み中の実施となりました。

8月31日（日）には鹿嶋勤労文化会館において、鹿島宇宙技術センター50周年記念講演会が開催され鹿島OBでもある日置幸介氏（現北海道大学教授）と吉川真氏（現JAXA はやぶさ2 ミッションマネージャー）の特別講演を実施し、鹿嶋市内外から237名の参加があり、大変興味の持てる講演内容に活発な質疑応答が行われました。

2日間、たくさんのご来場ありがとうございました。

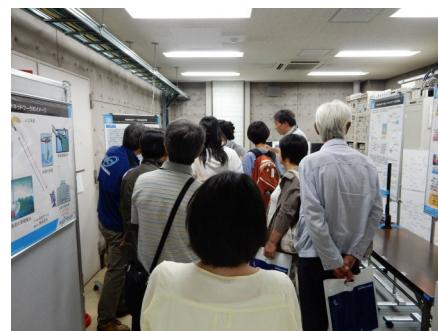
## 【一般公開当日の写真】



受付開始を待つ来場者の方々



子供に大好評！ペットボトルロケット



ETSⅦを使った災害の早期発見



WINDS回線でのテレビ電話



運用中の静止衛星数の変化を説明中



34mアンテナにタッチ

## 一般公開アンケート集計結果

今年の一般公開は713名が来館され、388名の方からアンケートをお寄せいただきました。集計結果をご報告いたします。(アンケート回収率54.41%)

【記述式の質問に対する回答でいただいたご意見】



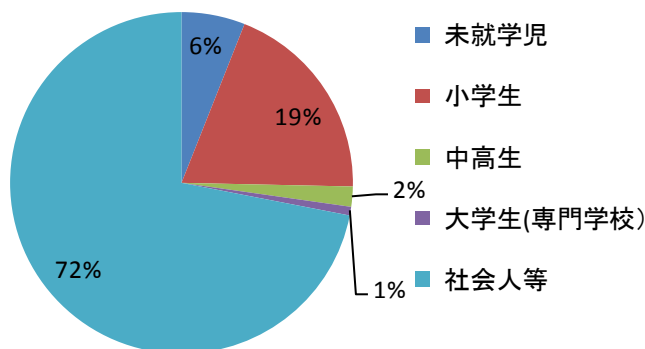
### アンテナ・展示/説明・実験/体験コーナーについて

- ・34mアンテナの大きさに驚いた/アンテナに登れて、触れて良かった/稼働を見るのが楽しかった。
- ・ペットボトルが面白かった/空き缶の気圧実験は説明がわかりやすく、楽しかった/木星の音、オーロラの音などは興味深く聞くことができた等
- ・災害の早期発見システムの構築やWINDSの海洋研究現場での活用が印象に残った/宇宙通信の方法や仕組みがよくわかった/わかりやすく説明してくれた/少し難しかった/親切な対応だった/テレビカメラが面白かった/3Dメガネの映像鑑賞がよかった/ためになった/もう少し説明する人がほしい等

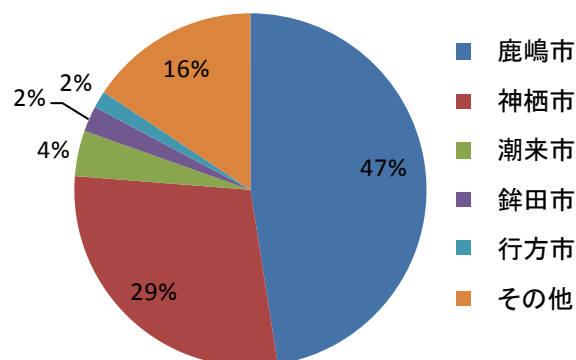
### 一般公開全般・要望について

- ・スタンプラリーの場所でわかりずらいところがあった/敷地内をまわる順路などがあるとよい/研究者の部屋を見たい/映像等をもう少し増やしての説明があればより良い/もっと積極的に開催した方がよい/歴史的な30m電波望遠鏡などの展示があってもよかった/施設の役割や意義を理解できた等
- ・工作教室をやってほしい/講演もしてほしい/休憩のための椅子の用意があるといい/体験参加できるものを増やしてほしい/ペットボトルロケットは子供に好評なので毎年やってほしい/毎年同じ内容になってしまうことが多いので、一つは新しい展示をしてほしい/子供が触れ合えるものを増やしてほしい等

客層

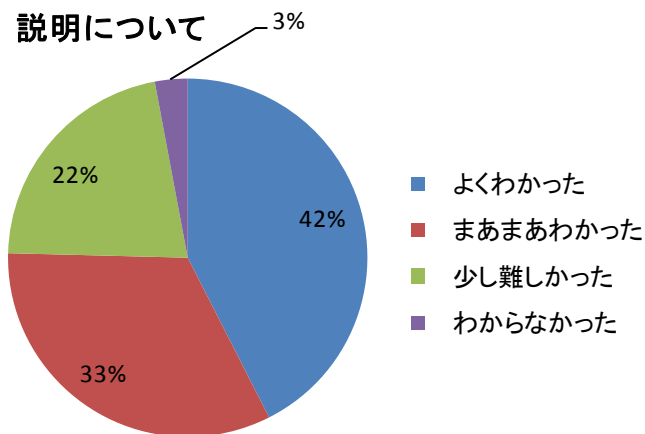


居住地

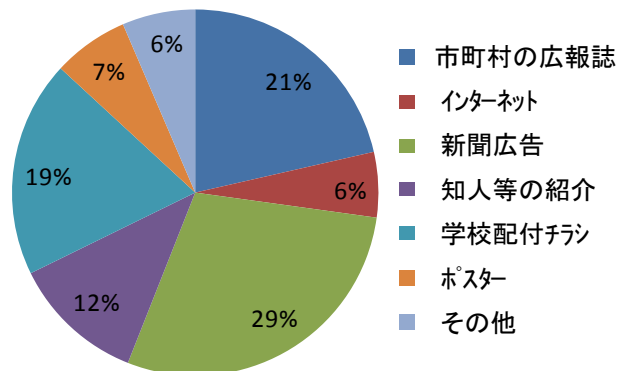


その他：稲敷、旭、香取、東京、横浜、ひたちなか、水戸、東海村、那珂、佐野、つくば、鎌ヶ谷、三重、熊谷、東庄、龍ヶ崎、春日部、銚子、高萩、市川

説明について



一般公開を何で知りましたか



その他：道の駅、電話問合せ、通りがかり、横断幕、観光案内所、タウン情報誌、FMかしま、ツイート

## 50周年記念講演会の様子

2014年5月1日に鹿島宇宙技術センター（旧電波研究所鹿島支所）は開設から50年を迎えました。これを記念し、8月31日（日）に『鹿島宇宙技術センター50周年記念講演会』が鹿嶋市や鹿嶋市教育委員会の後援をいただき、鹿嶋勤労文化会館の大ホールにて開催されました。当日はかつて鹿島センターにも在籍されていた日置幸介氏（現北海道大学教授）と吉川真氏（現JAXAはやぶさ2ミッションマネージャー）が特別講演を行い、子供から大人まで多くの方が興味深く耳を傾けていました。講演会の様子を少しご紹介いたします。

講演者：北海道大学理学部 地球惑星科学科  
教授 日置幸介 氏  
講演タイトル：宇宙測地学の発展と新たな可能性  
—VLBIからGNSSへ—

講演内容：45億年前に火の玉として生まれた地球はマントル対流によってゆっくり冷えて現在に至ります。地震の原因となるプレート運動を、1980年代に世界に先駆けて直接測ったのが鹿島の巨大なアンテナによるVLBI観測です。その後、GPS衛星等を用いた手軽なGNSS衛星技術として地球科学のさまざまな分野を支えています。今回の講演ではGNSSで測る地面の動きを中心に、その意外な応用について解説いただきました。

講演者：（独）宇宙航空研究開発機構  
はやぶさ2ミッションマネージャ 吉川真 氏  
講演タイトル：宇宙への挑戦  
—「はやぶさ」から「はやぶさ2」そして未来へ—

講演内容：小惑星探査機「はやぶさ」は、世界で初めて小惑星からのサンプルリターンに成功しました。そしてもうすぐ、その後継機である「はやぶさ2」が打ちあがろうとしています。今回の講演では「はやぶさ」や「はやぶさ2」の宇宙への挑戦について紹介するとともに未来の夢についてお話いただきました。



鹿嶋勤労文化会館入口前の案内看板



講演会開始前の様子



主催者挨拶・富田理事



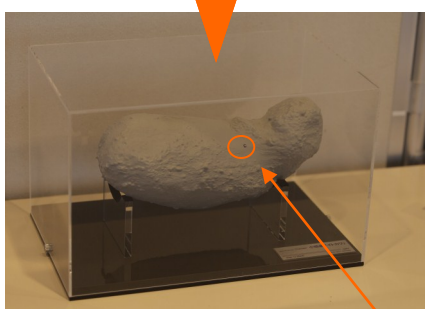
講演中の日置幸介氏



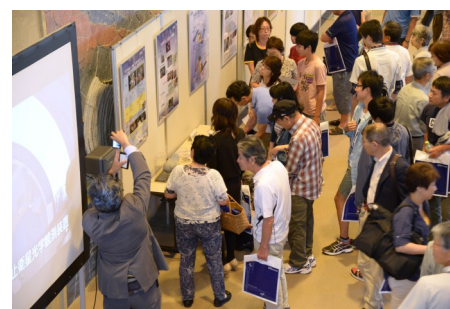
JAXAからネットにより講演を行った吉川真氏



閉会挨拶・平良センター長



吉川氏が持っているいとかわ（1/2000）の模型。はやぶさ付。



ホワイエでの展示コーナー